

令和5年8月4日

# ひょう害に伴う農作物の技術対策について

西部農業事務所普及指導課

J Aたかさき

7月31日午後5時15分過ぎ、高崎市内で降雹がありました。  
ひょう害を受けたほ場では、早急に下記の対応をお願いします。

## ○果樹

### 【薬剤散布】

- 降ひょうの被害を受けた園地は、品目に適用のある殺菌剤を散布し、傷口からの病原菌の侵入を防ぐ。
- 果樹防除暦を基準に定期防除を直ちに実施する。次回の定期防除まで間隔が空く場合は、殺菌剤の特別散布を実施する。
- 収穫期のため、安全使用基準と農薬による果実の汚れを考慮して行う。

### ○主要品目に適用があり、ナシの収穫前日まで使用可能な殺菌剤

(令和5年8月2日現在の登録内容)

薬剤名	品目毎の収穫前日数	
	ナシ	カキ
トップジン M 水和剤	収穫前日まで	収穫前日まで
ストロビードライフロアブル	収穫前日まで	収穫14日前まで

※農薬使用時は、必ずラベルの使用方法、注意事項を確認してください。

### 【その他】

- 果実を収穫しないで放任すると、樹勢低下を招くので全て収穫する。
- 病虫害防除のため、今後も通常の定期防除を実施する。
- 品目によっては過度な摘果をすると樹勢が強くなり花芽着生が悪くなる場合があるので、樹勢に合わせた着果管理に留意する。

## ○野菜

### 【野菜全般】

被害発生時には、草勢の回復に努める。また、損傷した茎葉の整理と適用のある殺菌剤を散布し、病害の発生を防止する。

### 【ナス】

- 品質の悪い果実(キズ果等)や花は摘果し、新たな腋芽に養分を集中させる。
- 各節の腋芽や被害葉は、無理して適葉せずに放任しておく。この際、茎に大きな傷がある場合は、傷の下で切り戻す。
- 降ひょうに伴う茎葉の損傷や泥ハネにより、褐色腐敗病、褐紋病の発生が懸念されるので、以下の薬剤に展着剤を加用して5～7日間隔で防除する。

褐色腐敗病:プロポーズ顆粒水和剤(ダコニール1000との混合剤、収穫前日まで)  
ランマンフロアブル(収穫前日まで)

褐紋病:ベルコートフロアブル(収穫前日まで)、ベンレート水和剤(収穫前日まで)

うどんこ病:シグナムWDG(収穫前日まで)

- 草勢回復のため、NK-17号化成を10a当たり10～20kg(窒素成分1.7～3.4kg)程度追肥する。または、窒素入り液肥の葉面散布を行い、草勢の回復を図る。

### 【ネギ】

- 湿害に弱いので、速やかに排水対策を講じる。
- 強風により倒伏した場合は早めに起こす。
- 茎葉の損傷による病害の発生が懸念されるので、早めに殺菌剤の散布を行う。軟腐病、べと病等の発生が懸念されるので、適用薬剤で防除する。

軟腐病:スターナ水和剤(収穫7日前まで)、カスミンボルドー(収穫14日前まで)

べと病:ランマンフロアブル(収穫3日前まで)、シグナムWDG(収穫7日前まで)

### 【オクラ】

- 倒伏の激しいものや傾いたものは、早めに起こし、株元に土を寄せる。
- 株元の排水を良好にし、茎の腐敗を防ぐ。
- 傷果は早めに摘果を行うとともに、NK-17号化成を10a当たり10kg(窒素成分1.7kg)程度追肥し、草勢の回復を図る。
- 泥ハネにより葉すす病や黒斑病の発生が懸念されるので、適用薬剤を散布。

葉すす病、黒斑病:トリフミン水和剤(収穫前日まで)

※農薬使用時は、必ずラベルの使用法、注意事項を確認してください。

(農薬は、令和5年8月2日現在の登録内容)